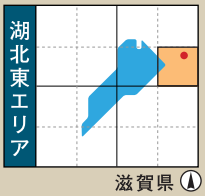
天然記念物
国指定

伊吹山頂草原植物群落

伊吹町伊吹山　平成15年7月25日指定



伊吹山は、日本海型気候と太平洋型気候の境界にそびえる山で、中腹以上には石灰岩が広く分布しています。このような特殊な気候条件、地質条件のため日本では希少な山地草原が発達し、伊吹山固有植物、北方系植物など、多種多様な植物が群生する貴重な地域となっています。

伊吹山と植物群落

伊吹山は滋賀県の最高峰で、岐阜県との境に位置する標高1377mの半独立峰です。伊吹山は直接日本海に面しているわけではありませんが、西に高い山がないため、強い季節風が当たり、多雪で、高山的な気象条件となっています。また、中腹以上には、古生代に形成された石灰岩が広く分布します。この石灰岩は割れ目が多く、割れ目を通して水が浸透し、渓が無く表土が乾燥しやすいため、樹木が生育しにくく、草原が発達しました。さらに、この地域が、ふもとの人たちの草刈り場として管理されていたことも、草原を発達させる要因となっています。

この地域は、近世以前から薬草の採草地としても名高く、織田信長がポルトガル宣教師に命じて薬草園を造らせたといわれています。そのためか、ヨーロッパ原産の植物も分布しています。



雪景色の伊吹山



伊吹山頂草原植物群落



山頂付近の草原



夏のお花畑

植物群落の特徴

群落を構成する植物は多様で、様々な起源の植物が生育しています。まず、伊吹山周辺の固有種としてはルリトラノオ、イブキレイジンソウなど８種が知られています。また、通常は中部以北の高山帯に生育するグンナイフウロ、キバイソウなどが、さらに、スミレサイシン、イブキトリカブトのように日本海側の多雪地帯に特徴的なもの、イチョウシダ、イブキシモツケなど石灰岩質を好む植物などが見られます。このほか、中国東部、朝鮮系の植物、ヒマラヤや中国大陸と共通の植物、ヨーロッパ原産の植物も見ることができます。これらの植物は、伊吹山が成立してきた自然条件、長い地史的過程、さらには人為的な条件により形成されてきたもので、学術的にも、とても貴重な文化財です。

群落の保全

伊吹山ドライブウェイが通じているため、多くの人たちが、お花畑まで手軽に行けるようになり、この美しい自然に親しむことができるようになりました。しかし、その一方で、お花畑の荒廃が心配されるようになってきています。

この貴重な植物群落を後世に伝えるため、指定された場所以外には立ち入らない、ゴミを持ち込まないなど、最低限のマナーは、当然の事ながら守らなければなりません。

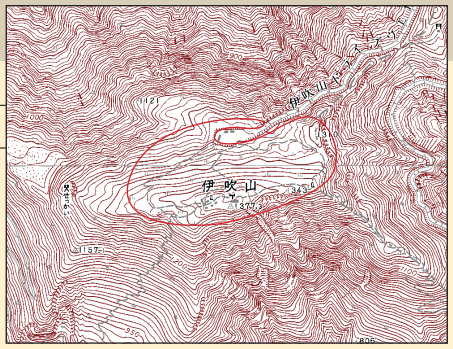
関連する文化財

秋田駒ヶ岳高山植物帯（秋田県田沢湖町）	標高1637m。コマクサ、ムシトリスミレの多産地として名高い。特にコマクサの群落は見事
石巻山石灰岩地植物群落（愛知県豊橋市）	標高400m。中央に突出する石灰岩塊上に、石灰質を好む植物が群生し、特殊な植物景観を表す
深泥池水生植物群落（京都府京都市）	周囲1km、深さ約1m程度。泥土層が発達し浮島状となり、各種の水生植物群落により覆われている
霧ヶ峰湿原植物群落（長野県諏訪市・下諏訪町）	三つの区域からなり、典型的な高層湿原植物群落を形成している

もっと深く知りたい

伊吹山文化資料館　☎0749-58-0252　坂田郡伊吹町春照77

伊吹町教育委員会　☎0749-58-1121　坂田郡伊吹町春照37



伊吹山頂草原植物群落へのアクセス　JR東海道本線　柏原駅下車
名神高速道路関ヶ原インター　伊吹山ドライブウェイ

【参考文献】〔伊吹山の生物相とその保全〕伊吹山を守る会　〔滋賀県天然記念物調査報告〕滋賀県保勝會

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月